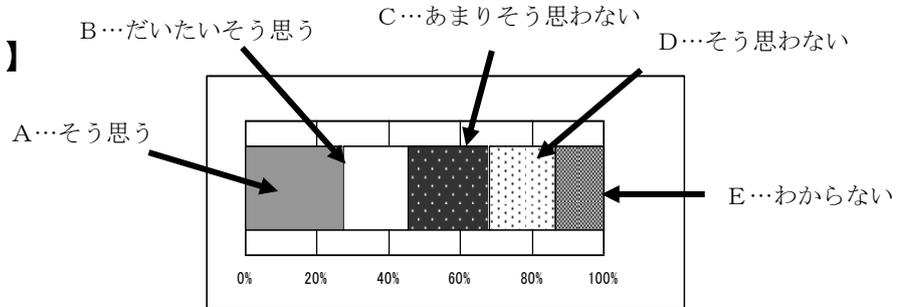


平成26年度 富士見台小学校学校評価報告書

練馬区立富士見台小学校 校長 眞瀬 敦子

今年度は、校長が替わったことを機に、沢山あった学校評価の項目を整理し、分かり易くしました。そのため、昨年度との比較はあまりできませんが、来年度の本校の教育を更に充実させるため、皆さんから寄せられた評価を真摯に受け止め、対策を考え実行していきます。

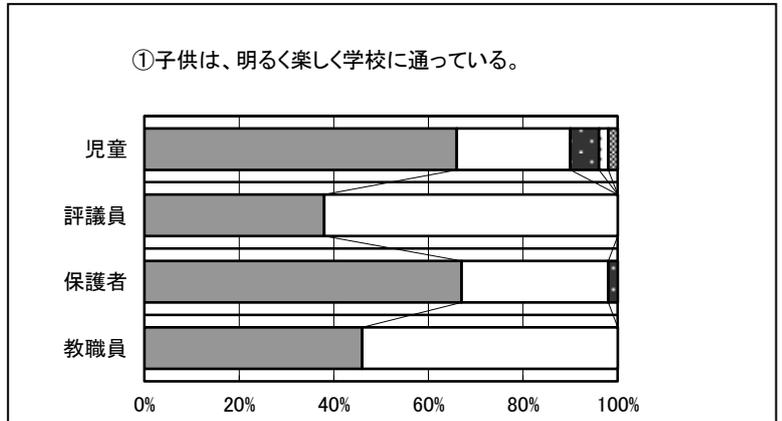
【 評 価 基 準 】



① 子供は、明るく楽しく学校に通っている。

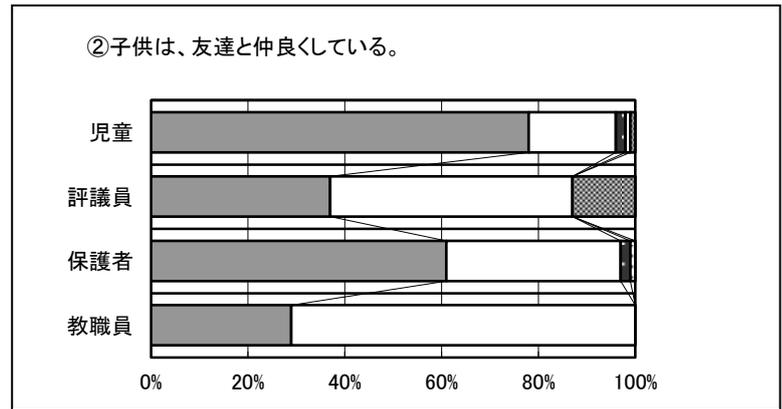
どの評価者からも 100%に近い高い評価を得ました。学校としては何より嬉しいことです。ただし、児童の90%が、「学校に通うのが楽しい」と考えている反面、6%が「あまり楽しくない」、2%が「楽しくない」、2%が「わからない」、と答えています。これは見過ごせない問題です。本校では来年度より、毎月必ず何らかの方法で児童の意識調査をすることにしました。これにより、いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめの芽を早めにつみとります。

子供のつまずきの原因を全て取り去るのが良いこととは限りませんが、児童一人一人をきめ細かく観察し、掴み、それぞれの成長を助ける対応をしていきます。



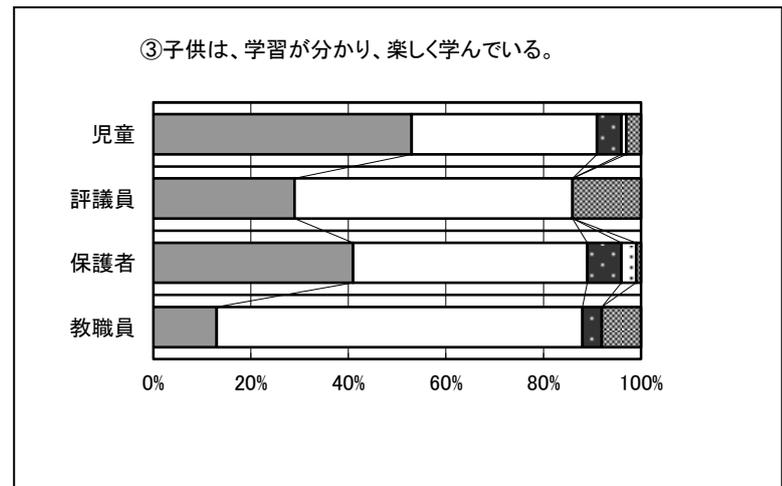
② 子供は、友達と仲良くしている。

児童の95%、保護者の98%が、肯定しています。嬉しいことです。評議員の13%が、「分からない」と答えているのは、数回の授業参観では見えないところがある、ということなのでしょう。本校では、人を思いやる心を大切に、人を傷つけるような言動は、機を逃さず指導するよう努めてきました。これからも指導者自身が温かく児童を見ながら、「かしこく・やさしく・たくましい」子供を育てていきます。



③ 子供は、学習が分かり、楽しく学んでいる。

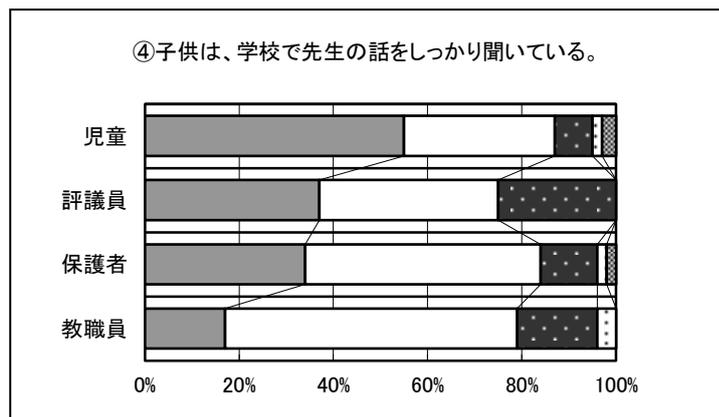
これも大変高い評価をいただきました。児童自身も91%が「学習が分かり楽しい」と答えています。しかし教職員の75%が「だいたいそう思う」という評価です。自信をもって自己評価できるよう、教師としての指導力を高め、児童を見取る目をしっかり付けることを目指して、より研鑽を積んでいきます。



④ 子供は、学校で先生の話をしっかり聞いている。

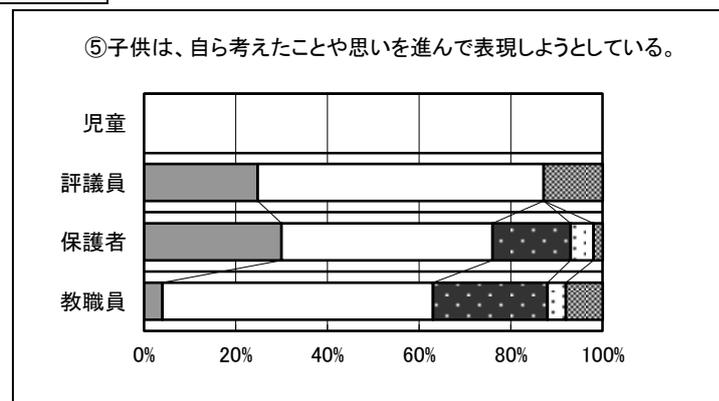
児童自身の評価は87%と高いのですが、授業参観をした評議員の方の25%が「あまりそう思わない」と感じていらっしやいます。教員、保護者の評価も80%というところ。 「聞く力」は全ての学習の基礎となります。来年度も引き続き意識して、聞く力を育てていきます。

保護者の皆さんによる「読み聞かせ」は、楽しみながら一生懸命聞こうとする子供たちを育てています。



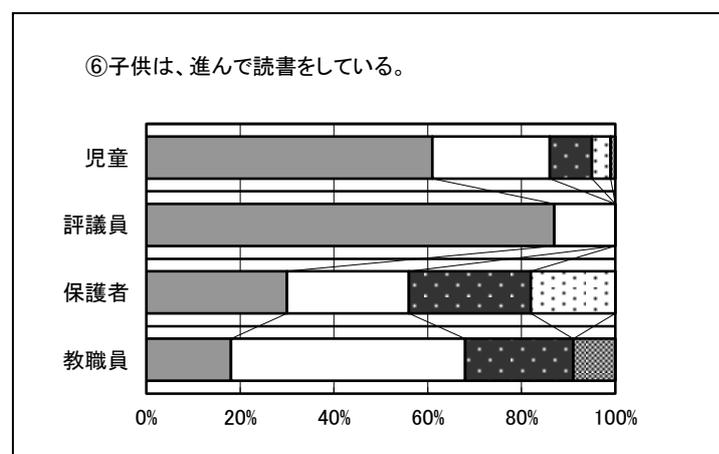
⑤ 子供は、自ら考えたことや思いを進んで表現しようとしている。

この項目は、児童の考えや思いが伝わっているかという観点から、児童以外の人に評価してもらいました。学校公開などの授業観察で、評議員の方は皆さん、「進んで表現しようとしている」と感じてくださったようです。しかし保護者の22%、指導している教職員の29%が、十分でないと感じています。来年度も引き続き、児童が自分の考えをしっかりとった上で進んで表現できるよう、様々な場面で指導していきます。



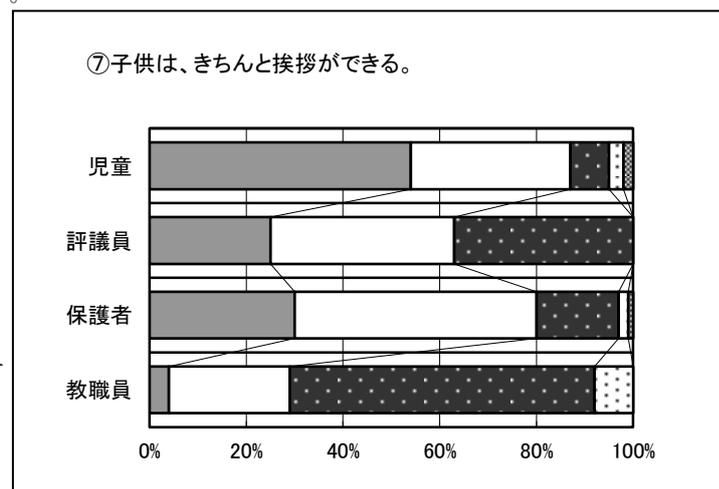
⑥ 子供は、進んで読書をしている。

本校では、今年度の朝読書を、読み聞かせ以外は「担任も一緒に本を読む時間」と位置付けました。学校全体が心地よい静けさに包まれ、そのまま落ち着いた雰囲気です。1時間目の学習に入っていくことができるのも朝読書の効能です。評議員の皆さんはこういった時間や読書指導の時間を見て、評価してくださったのでしょうか。児童自身の評価も86%と高いのですが、保護者の評価が56%と低いのは、何故でしょうか。この夏初めて親子読書を課題に出しました。忙しい保護者の皆さんには大変だったと思いますが、徐々に子供と本について語り合ったなど、好評でした。ご家庭でも月に1回だけでもテレビを消して、親子で本に読み浸る時間をとっていただけたらと思います。学校でも来年度は朝読書の時間を週3回に増やし、図書館支援員によるブックトークや本のラリーなど、より充実した読書指導に努めます。



⑦ 子供は、きちんと挨拶ができる。

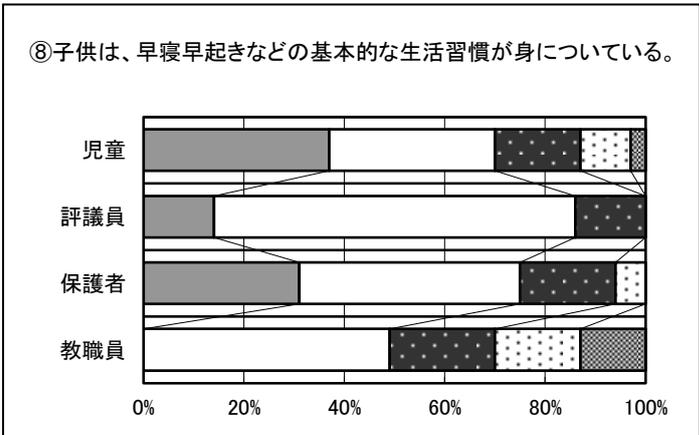
児童の87%、保護者の80%が「できている」「ほぼできている」と考えていますが、評議員は63%、教職員に至っては29%しか満足していないという結果が出ました。今年度本校では、年5回の教員による挨拶運動に加えて、PTAが年10回、石東中の中学生が年3回、運動を行ってくださっています。私も毎朝校門に立って挨拶をしていますので、1学期に比べて、ずいぶんよく挨拶の声が出るようになっていを実感しています。でも、それが定着しているかと



いえば、残念ながらまだまだです。いつでもどこでも自分から進んで挨拶のできる子と、そうでない子とがはっきり分かれています。来年度は会釈も含めて、習慣化させることを目指して、指導していきます。

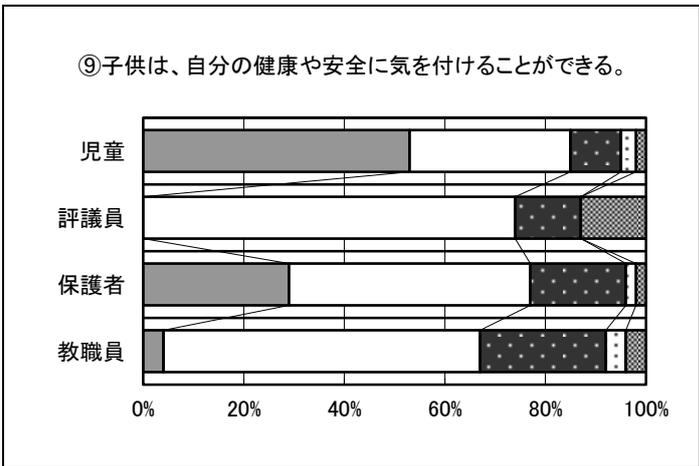
⑧ 子供は、早寝早起きなどの基本的な生活習慣が身に付いている。

全体に評価の低い項目です。保護者の75%、児童の69%、教職員の50%ができていると考えていますが、反対にそれぞれ25%、27%、38%ができていないという認識をもっています。来年度は、基本的な生活習慣が何故大切なのかを児童にしっかり理解させ、ご家庭と協力して指導していきます。



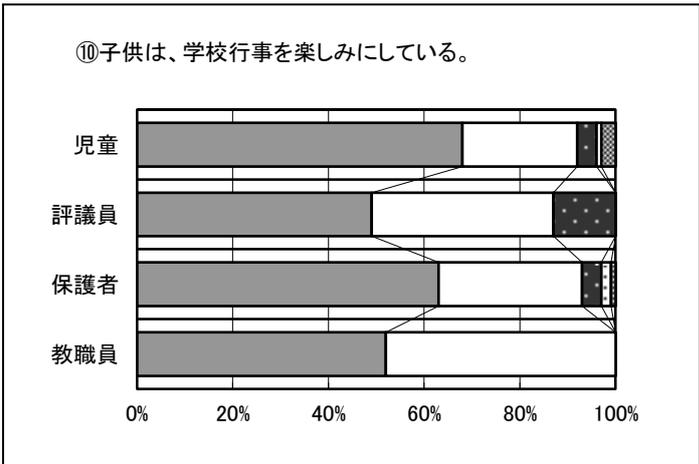
⑨ 子供は、自分の健康や安全に気を付けることができる。

この評価は、高学年の児童を対象にしていますが、過半数の子が自分ではできていると考えているのに対し、大人たちの評価は高くありません。現代社会の中で自分の身を守るということは、交通安全の他に、うがい手洗いや健康的な生活習慣、食生活、携帯などの情報モラル等、多岐にわたっており、且つ大変重要なことです。ご家庭だけでなく、地域とも連携をとって、児童の指導に当たっていきます。



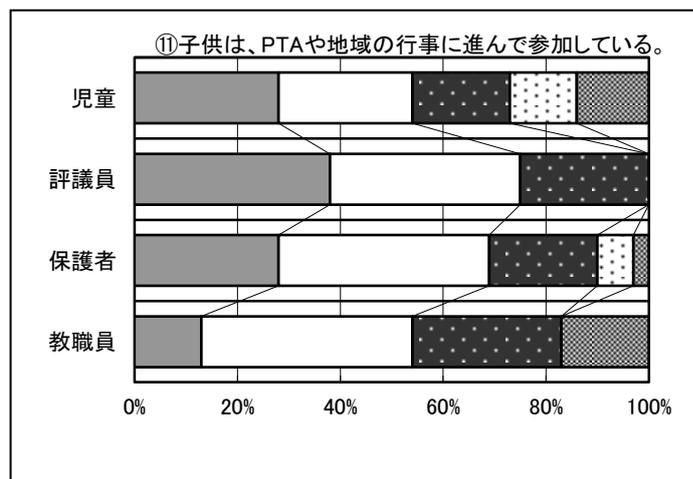
⑩ 子供は、学校行事を楽しみにしている。

教員はもちろんですが、児童・保護者共に、90%以上の高い評価です。学校行事は、児童に協力の大切さや自己有用感をもたせることのできる大切な時間です。これからも、狙いははっきりさせ、児童の力を高めていく行事計画を進め、実践していきます。



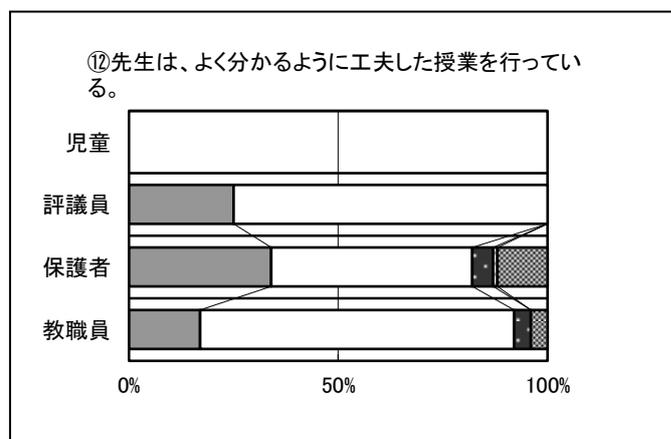
⑪ 子供は、PTA や地域の行事に進んで参加している。

地域や育成委員、PTA が主催してくださる行事へは、進んで参加する子とそうでない子とが、ちょうど半数ずつであることがわかります。地域に根ざしていたり、子供のことを考えてよく練られていたりする行事ばかりです。スポーツや習い事と重なってしまうという場合は仕方ありませんが、学校でも更に呼びかけますので、ご家庭でも是非積極的に送り出してください。



⑫ 先生は、よく分かるように工夫した授業を行っている。

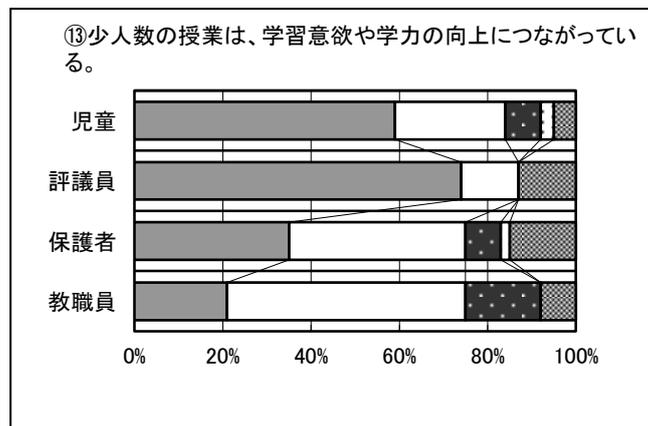
③の項目を、授業参観や、児童のノート等から、客観的に評価していただきました。保護者や評議員の方たちが高い評価をしてくださっているのに、教員が「だいたいそう思う」とか「あまりそう思わない」「わからない」といった自己評価なのは、情けない限りです。胸を張って「工夫している」と言い切れるよう、来年度の研修をしっかりと行います。



⑬ 少人数制の授業は学習意欲や学力の向上につながっている。

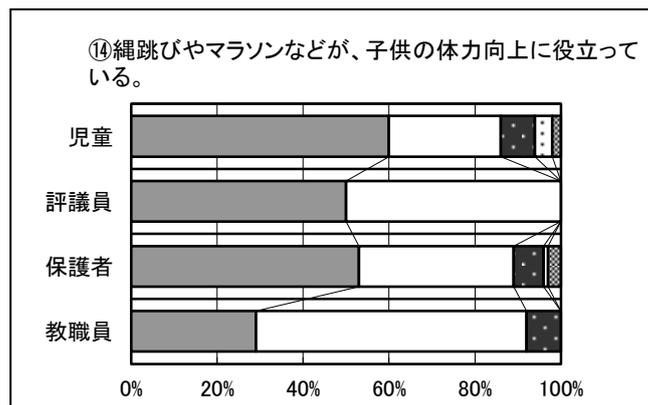
指導を受けている児童の60%が「そう思う」と答え、「だいたいそう思う」と合わせると、実に84%の児童が少人数制の良さを感じています。それにもかかわらず教職員の評価が低いのは、人数の多い学年では少人数制が十分機能しなかったのではないかと、指導法にもっと工夫の余地があったのではないかと考える教員が多かったことがあげられます。

そこで本校では来年度、算数における少人数指導法を研究テーマとして、全校で取り組むことにしました。あまり良いと感じられなかった16%の児童にも、「少人数制なのでよく分かった」、「授業が楽しい」と思ってもらえるよう頑張ります。



⑭ 縄跳びやマラソンなどが、子供の体力向上に役立っている。

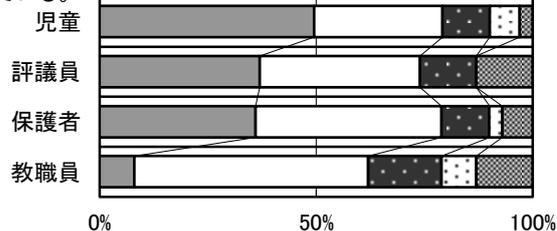
この項目は、いずれの評価者からも高い評価を得ました。子供たちがより楽しみながら体を動かし、体力の向上につなげられるよう、これからも実施方法やカード、級分けなどの工夫を行っていきます。



⑮ 縦割り班活動や集団登校で、思いやりや感謝の心が育っている。

児童・保護者の80%がそう思っており、特に児童の評価が昨年に比べて上がっています。PTAの校外委員さんのお陰で、集団登校も順調に行われるようになりました。縦割り班活動は、これからも本校の特色の一つとして、教員の目指している、より質の高い心の教育ができるよう、内容を工夫・精選していきます。

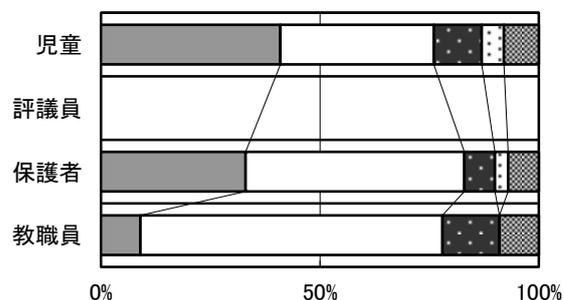
⑮縦割り班活動や集団登校で、思い遣りや感謝の心が育っている。



⑯ 子供のことで困ったとき、教職員に相談できる。

この項目の保護者からの評価は、昨年度と比べて83%と、大きく上がりました。大変嬉しいことです。これからも保護者の皆さんの信頼に応えられるよう、開かれた学校作りを推進していきます。それとは反対に、「そう思わない」「あまりそう思わない」と考えている児童が16%に増えてしまいました。これは、心のふれあい相談室に遊びに来ていた児童を制限したこともあげられそうです。私たちはこれからもアンテナを高くして、児童一人一人をしっかり見取る目を養っていきます。

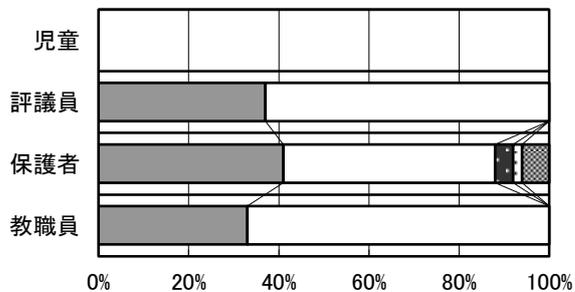
⑯子供のことで困ったとき、教職員に相談できる。



⑰ 学校は、保護者からの連絡に対して適切に対応している。

この項目も全ての評価者から高い評価をいただくことができました。特に保護者評価が88%と、大変高くなったことは、嬉しい限りです。「そう思わない」「あまり思わない」と感じている6%の方にも、信頼していただける学校作りを、更に進めて参ります。

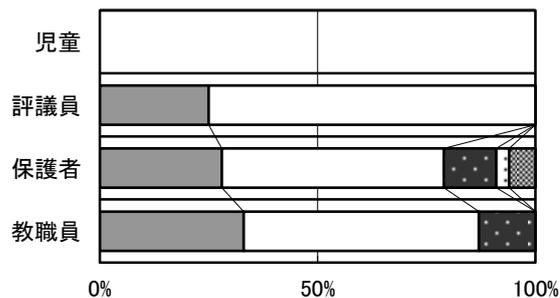
⑰学校は、保護者からの連絡等に対して適切に対応している



⑱ 学校は、学校や子供たちの様子を分かり易く発信している。

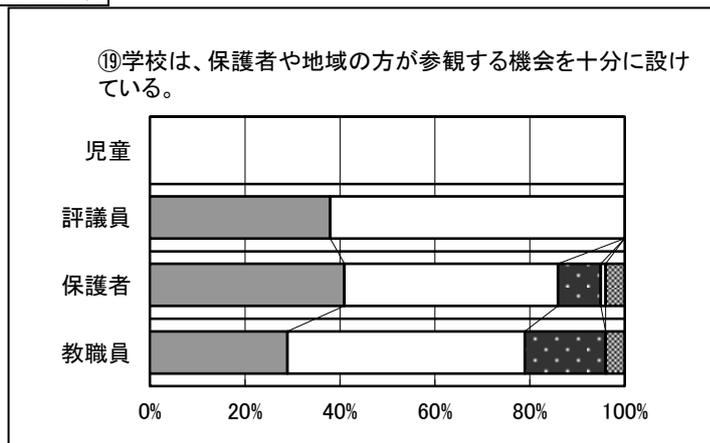
この項目に関する評議員評価は100%、保護者評価は80%が「良し」と考えてくださっており、昨年度と変わりませんでした。学校便りやホームページをより良いものにしていくため、研究便りやクラブ・委員会の紹介など、更なる改善を行っていきます。

⑱学校は、学校や子供たちの様子を分かりやすく発信している。



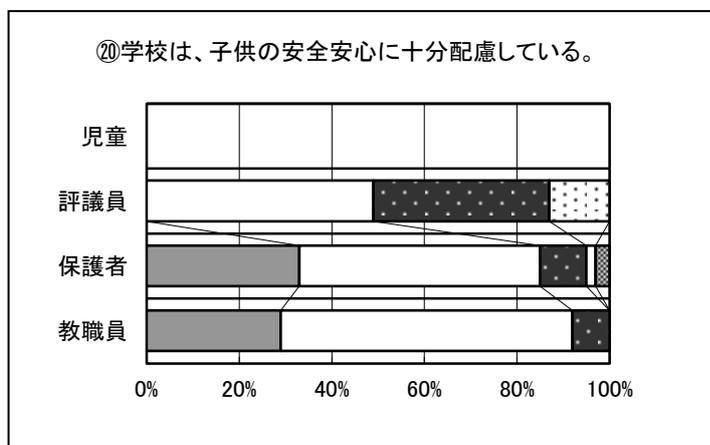
⑱ 学校は、保護者や地域の方が参観する機会を十分に設けている。

この項目にも評議員が100%、保護者も86%という、高い評価をいただきました。本校では土曜参観だけでなく、より多くの方にご来校いただけるよう他の曜日の参観も設定しています。また、行事や保護者会等で、毎月学校にいらしていただく機会があるように予定を組んでいます。是非来年度も、できるだけ多くご来校くださり、様々な場面での子供たちの姿をご覧ください。



⑳ 学校は、子供の安心安全に十分配慮している。

学校の安心安全に関しては、保護者の88%が肯定的に見てくださっている反面、評議員の半数から「十分ではない」という評価をいただいてしまいました。安全面を外部から見ての評価というのは、大変重要です。本校では、2学期から校内の安全点検の仕方を見直し、実行していますが、評議員の皆さんのご意見も伺いながら、来年度はより一層児童の安心安全に配慮していきます。



㉒ 掃除や片付けをしっかりと、きれいに気持ちよくしている。

児童の自己評価では、56%が「しっかりとやっている」と答え、29%が「大体やっている」と思っている反面、15%の児童が「していない」「あまりしていない」と考えたり、意識して行っていなかったりしていることが判りました。

これからも、自分の学校をきれいにするという「愛校心」、みんなで使う場所を、一人一人がきれいにするという「公共心」や「奉仕の精神」を意識させて、清掃指導を行っていきます。

2年生の生活科の授業で、初めて雑巾を絞ったという子もいます。子供の生活の中で、箒や雑巾を使う機会がほとんど無くなっている現在、学校での掃除の時間の重要度が増しているようです。

